

失われた記憶へ向かう  
親子の旅の果てに…  
衝撃の結末——



「北の零年」(05)、「北のカナリアたち」(12)に続く「北の三部作」最終章である今作、  
多くの名作が生まれた北海道の雄大な風景の中で、今回描かれるのは  
大戦末期から高度経済成長期という激動の時代を生き抜いたある「親子の物語」である。  
厳しくも温かく息子を守る母・江蓮てつを演じるのは本作が120本目の映画出演作となる吉永小百合。  
苦難を乗り越えて成功し、老いた母と再び時を過ごすことを決める息子・修二郎を堺 雅人が演じる。  
さらに、修二郎の妻・真理役に篠原涼子、親子を見守る山岡役に岸部一徳、  
てつの夫・徳次郎役の岡部 寛、てつたち親子を助ける菅原を佐藤浩市が演じ、豪華キャストが顔を揃えた。  
監督は「おくりびと」(08)で世界を沸かせた滝田洋二郎、脚本は「北の三部作」全作品を手掛ける那須真知子、  
物語を象徴的に影る演劇的シーンの舞台演出として、ケラリーノ・サンドロヴィッチが名を連ねる。  
北の史実に心を揺さぶられる今春必見の大作が、堂々完成した。

幸せとは、記憶とは、そして親子とは、  
そして満開の桜の下で明かされる、衝撃の結末——



**上映日：2018年10月26日(金)**

①10:00 ②14:00 ③18:00 (上映時間2時間8分)

場 所：花巻市文化会館 大ホール 入場料：大人1,000円(当日券1,200円)中・高校生500円  
主 催：花巻市地域婦人団体協議会 問合せ：0198-47-2025